

「竜光魚道工」完成を祈念して！ 宇賀地小学校児童がヤマメ・イワナの稚魚を放流しました。

10月27日（金）、魚沼市立宇賀地小学校3・4年生の28名が、魚沼市竜光地内の芋川で稚魚を放流し、あわせて砂防工事現場を見学しました。

今回の放流及び現場見学は、湯沢砂防事務所が進めている「竜光魚道工」の整備に合わせ行われたもので、工事の受注者である北越建設（株）が企画しました。なお、放流した稚魚は、魚沼漁協から北越建設（株）が購入したもので、当日は、漁協の方々にもご協力いただき、ヤマメ640尾、イワナ560尾が現地に持ち込まれました。

10匹ほどの稚魚が入られたバケツを渡された児童たちは、元気のよい稚魚がバケツの中で水をはねるたびに歓声を上げ、それぞれが手で稚魚をすくって放流しました。

宇賀地小学校の先生からは、「自然にふれあう貴重な機会を頂きありがとうございます。放流会をとおして自然の大切さを学ぶことができましたと思います。」と感想を頂きました。



魚をさわるのは初めて、そっと放流。



ドローンによる撮影も行われました。



FM魚沼のインタビューを受ける児童たち

※放流会の様子は、11/14・15 13:00頃からFM魚沼で放送される予定です。



現場見学会の様子



完成間近の竜光魚道工